



平成 28 年 12 月 2 日

各位

会 社 名 株式会社ディー・ディー・エス
代 表 者 代表取締役社長 三吉野 健滋
(東証マザーズ・コード番号 3782)
問 合 せ 先 取締役管理担当 貞方 渉
電 話 番 号 0 5 2 - 9 5 5 - 5 7 2 0
(URL <http://www.dds.co.jp>)

当社株式保有先（北京視信源科技發展有限公司）の買収に関するお知らせ

当社が株式を保有する北京視信源科技發展有限公司（2005年4月設立、本社：中国北京市、CEO：陳傑、Superpix Micro Technology (Beijing) Ltd、以下「視信源」）及びその事業子会社である北京思比科微電子技術有限公司（2005年4月設立、本社：中国北京市、中国新三板上場、CEO：陳傑、Beijing Superpix Micro Technology Co.Ltd、以下「思比科」）の2社が、北京君正集成电路股份有限公司（2005年7月設立、本社：中国北京市、中国創業板上場、CEO：劉強、以下、「君正」）との間で買収に関する基本合意に至り、本日各社から開示されました。

現時点で当社が確認している状況について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 概要

当社グループは、平成18年3月1日に「Superpix Micro Technology Ltd. の株式取得に関するお知らせ」にて公表したとおり、スマートフォンなどのカメラに用いられるCMOSセンサーの研究開発をしている同社の株式を取得しております。また、新しい指紋認証センサーについての研究を行う目的で技術提携関係にあります。

当社は持株会社である視信源の株式5.12%を保有しており、視信源は事業会社である思比科の株式53.85%を保有しております。

今回、視信源および思比科は君正との間で、2社合計で6.6億元（日本円で約108億円）にて買収に応じる合意をしましたが、思比科は中国の専門家向け証券取引市場である「新三板」に上場しているため、買収の可否および買収金額についても中国証券監督管理委員会の審査、承認が必要となります。

現在の条件で契約成立した場合、当社の売却金額は持分から換算すると約3億円となり、中国証券監督管理委員会の審査が完了したのちに売却代金が米ドルにて払い込まれる予定です。現在の簿価で換算すると約2.7億円の特別利益が平成29年度12月期に計上される見込であり、中国証券監督管理委員会審査が完了し詳細が決定した時点で、改めて開示を行います。

2. 今後の見通し

平成28年12月期連結業績に与える影響はありません。また、技術提携関係については君正グループとの間で継続する予定です。

以上